

市場機能の再編、連携を

生鮮流通
フォーラム

海洋大・婁副学長が指摘



豊洲市場で全国生鮮流通フォーラムを開いた
(11月14日)

生鮮流通分野でコンサルティング・システム事業を手掛けるパーソナル情報システム(PJS、東京都港区)は11月13日、14日、東京・豊洲市場で「第42回全国生鮮流通フォーラム」を開いた。豊洲市場協会が協力。両日合わせて水産、青果市場の関係者約200人が参加した。14日は水産をテーマに、卸売市場を取り巻く環境変化にどう対応するかを議論した。

暴調講演では、東京海洋大学の婁小波副学長が「水産物卸売市場流通の未だ像を考へる、不確実性・多様性・効率性の狭間に、必要な役割・機能の再編について考査した。婁氏は、市場というチャネルを利用する合理性を整理。出荷者にとっての合理性には販路の提供や機会ロスの減少、需要

家にとっての合理性には

品ぞろえや低い取引コストなどを挙げた。その

方向性を示した。

①では、市場間連携や

産地との連携などチャネルの再編▽販売サービス

トーなどを挙げた。その

上で、産地直送や電子商取引(EC)など販売チャネルの多様化、供給の

トーなどを挙げた。その

トーなどを挙げた。その

洋大の婁小波副学長が「水産物卸売市場流通の未だ像を考へる、不確実性・多様性・効率性の狭間に、必要な役割・機能の再編について考査した。婁氏は、市場にとっての合理性には販路の提供や機会ロスの減少、需要

家にとっての合理性には

品ぞろえや低い取引コストなどを挙げた。その

方向性を示した。

①では、市場間連携や

産地との連携などチャネルの再編▽販売サービス

トーなどを挙げた。その

トーなどを挙げた。その

不安定化といった環境変化により、市場を使つ合

理性にゆうぎが生じてい

る項目があると言及。市

場の機能再編として①

「機能」を取り戻し、さ

らなる強化を図る②「機

能」を進化させる—との

応応▽新しい事業ドメイン

▽個性化・ブランド化対

応▽新しい事業ドメイン

▽個性化・ブランド化対

応▽新しい事業ドメイン

の強化▽品ぞろえ、加工

・配達機能のさらなる強

化」を挙げた。(2)には、

垂直・水平での連携強化

▽個性化・ブランド化対

応▽新しい事業ドメイン

の強化▽品ぞろえ、加工

・配達機能のさらなる強

化」を挙げた。(2)には、